

県民だより

第49号

●1992年7月21日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市鳩田1丁目1番20号 ☎0286・23・2158 ●県人口/1,959,606人/男976,254人/女983,352人 ●世帯数597,316世帯(1992年6月1日現在)

廃棄物の適正な処理

——快適で安全な環境づくりのために——

①集めた廃棄物



②処理したゴミ



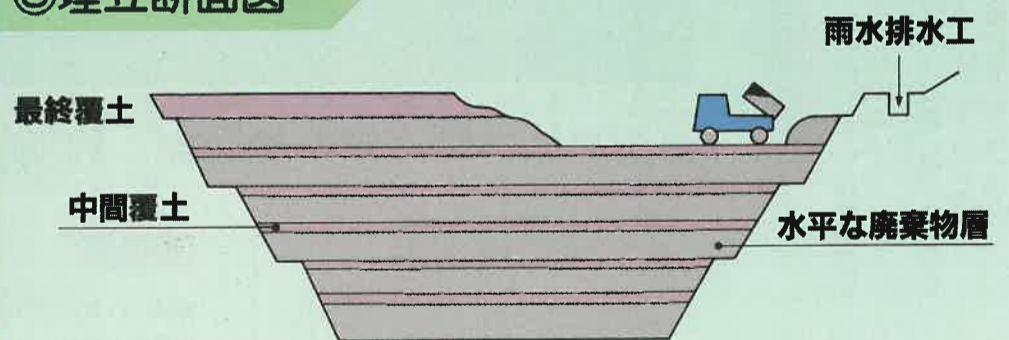
集めた廃棄物(①)は、中間処理場で細かく砕いたり、焼却したりして、減量化します(②)。そして、適正な処理と管理のもとに最終処分場に埋め立てられ(③)、その跡地は緑地や公園などとして、有効に利用されています(④)。

④埋立終了後

〈トウモロコシ畑として利用されているところ・黒磯市〉



③埋立断面図



年々ゴミの排出量が増大し、その処分場の



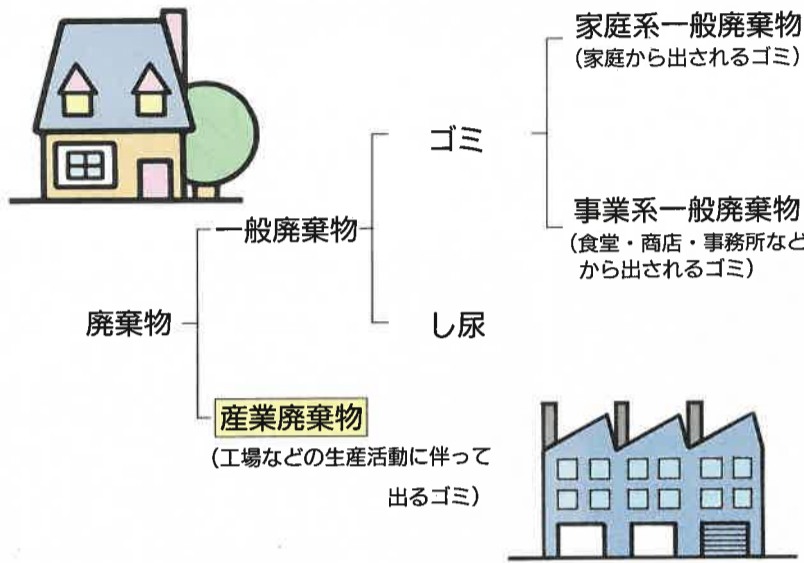
栃木県知事
渡辺 文雄

「ゴミ」は、私たちが生活し、社会生活を営む際に必ず出るものです。そして、家庭など生活の場から出てくる『一般廃棄物』と、工場などの生産活動に伴って出てくる『産業廃棄物』とに分けられます。

『産業廃棄物』というと、有害な物、危険な物、特別な物と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、全てがそうではありません。

ここで、もう一度『廃棄物』について考えてみるために、その現状と、処理方法などについてご紹介いたします。

廃棄物の種類

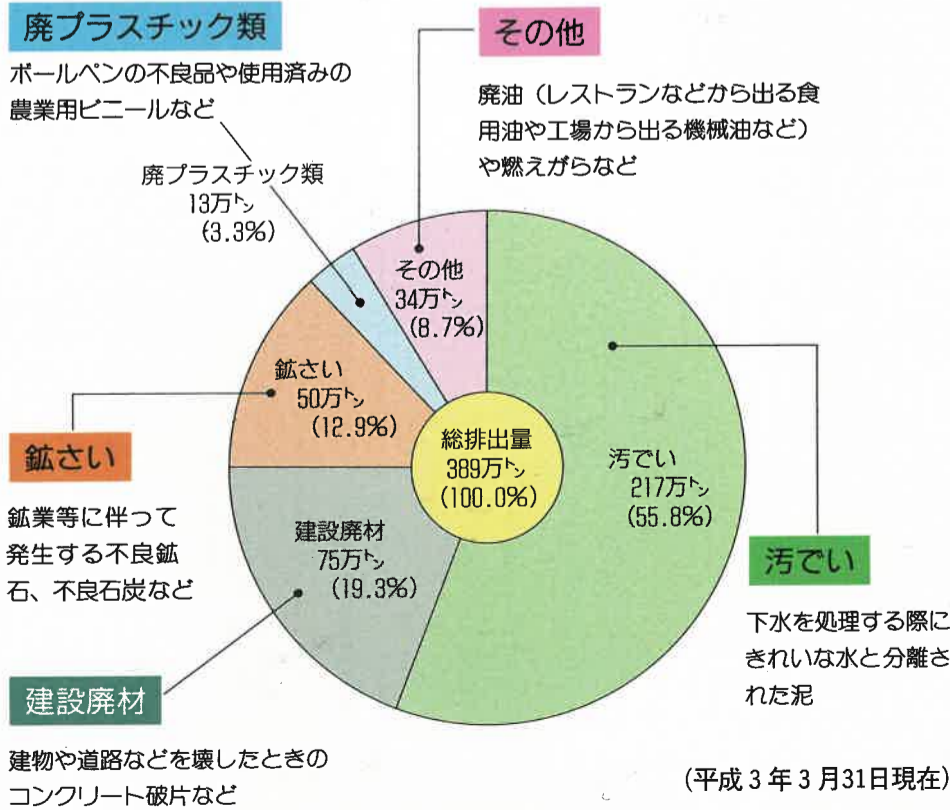


平成2年度産業廃棄物排出量

●動物の糞尿：約219万トﾝ（農地の肥料として再利用）



●農業系を除く産業廃棄物：約389万トﾝ



考えてみよう



もう一度

廃

棄

物

廃油など）
チック、
ートなど）
でい）
により減量化

安定型

●最終処分場
○性状の安定している五品目を埋め立てる

- 廃プラスチック類（例：廃タイヤ）
- ゴムくず（例：天然ゴム）
- 繊維くず（例：切断くず）
- ガラス陶磁器くず（例：レンガくず）

●建設廃材（例：コンクリート破片）

最終処分場の整備にご協力を！

再資源化したり焼却したりしても、廃棄物が全く無くなるわけはありません。処理後に残った廃棄物を埋め立てるための施設が最終処分場です。

最終処分場は、処分する廃棄物の種類や性状によって

とちぎの花

アメリカ生まれのヨーロッパ育ち・・・
(スプレイギク)



きくの栽培は、約1200年前中国で始まりました。日本での栽培は江戸時代にさかのぼり、当時の庶民に大変好まれたようです。その後、きくの一部はアメリカへ渡り、「スプレイギク」と呼ばれる新しいタイプのきくが生まれました。現在では、ヨーロッパで品種改良がなされ花色豊かな多くの品種が日本にやって来ております。本県でのスプレイギクの栽培面積は、27ヘクタールで、年間約950万本の可憐な花を生産しています。

▶ (県首都圏農業課 ☎0286-23-2328)

とちぎ県を知る

一統計から見た栃木県一

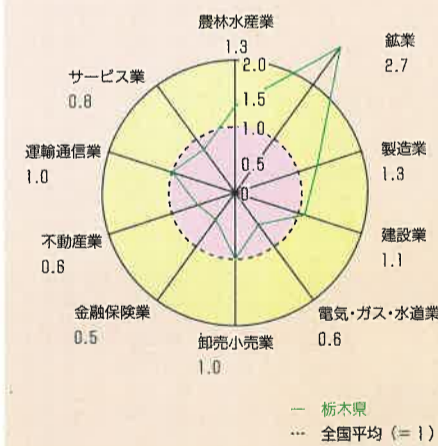
みなさんは本県の経済についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。本県経済の規模は、平成元年度の*県内総生産で約6兆7千億円となっています。また、本県経済の動きを実質経済成長率で見ると、昭和60年度以降の平均が6.0%と国の4.6%を大きく上回っており、本県経済が好調な拡大を続けていることが分かります。

*県内総生産：県内の経済活動により1年間に新たに生み出された付加価値の合計額で、国のGNPにほぼ相当します。

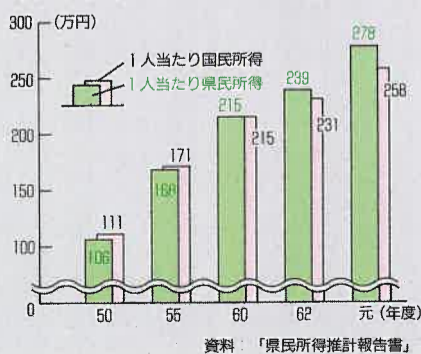
県内総生産の構成比から本県の産業構造を見てみると、農業などの第1次産業が3.2%、製造業などの第2次産業が48.1%、商業・サービス業などの第3次産業が最も多く48.7%となっています。

右のグラフは、全国平均の産業構造を1として本県の産業構造の特徴を見たものです。本県は第1次産業（農林水産業）及び第2次産業（鉱業、製造業、建設業）の割合が大きいです。しかし、本県でも産業構造のソフト化・サービス化の進展に伴い、第3次産業の割合が年々増加しています。

〈本県の産業構造の特徴〉



〈1人当たり県民所得と国民所得の比較〉



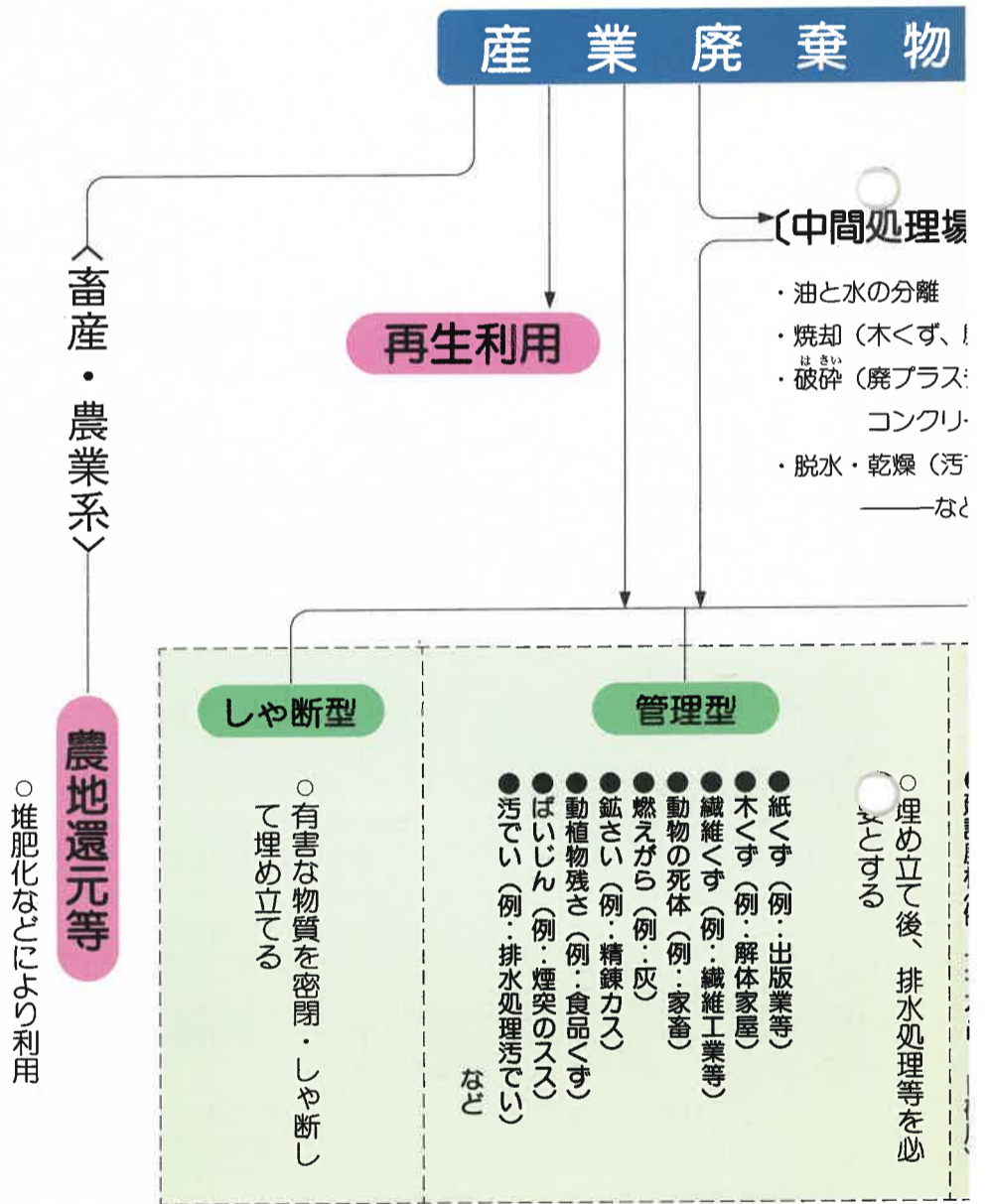
県全体の経済力を測る指標として*1人当たり県民所得がよく使われますが左のグラフは、本県の推移を全国(1人当たり国民所得)と比べながら見たものです。本県は昭和59年度以来連続して全国平均を上回っており、平成元年度には全国第9位に位置しています。

*1人当たり県民所得：県民(企業なども含まれます)が1年間に受け取った所得の総額を総人口で割ったものですが、県民所得には私達が働いて得た給料だけでなく、企業の利益や預貯金の利子なども含まれますので、給与水準を表すものとは異なります。

▶ 統計に関する御相談は「統計資料室」(県庁本館2階北側 ☎0286-23-2255)へ。係員が資料やデータの相談に応じています。

確保が重要な課題となっており、県内における廃棄物の処分状況は、一般廃棄物、産業廃棄物を問わず極めて厳しい状況にあります。また、公害防止等の環境保全対策が十分行われていても、廃棄物に対する不安感が強いことから、速やかな問題の解決に至っていないのが現状です。これは、社会生活に伴い必ず発生するものであり、私たち全てに関係がある問題です。県といたしましても、安全で快適な環境づくりをめざし、より良い対応策を進めるため努力してまいりますので、どうか県民の皆さまにも、廃棄物の処理に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

産業廃棄物の処理方法



クリーンアップフェア'92

「地球にやさしい暮らし」

「ごみの減量化とリサイクル」

をテーマとして、各種展示やイベントを行います。
是非おいでください!!

とき：8月26日(水)～31日(月)
ところ：西武百貨店宇都宮店 8F大催事場 ほか
主催：クリーンアップフェア実行委員会(県環境整備課内)

3種類に区分され、適正に処理されます。また、埋立後の跡地は、運動場や公園・緑地などとして利用されています。現在、県内の最終処分場は非常に不足しており、産業廃棄物を他県にも頼るという状態にあります。確保が是非とも必要であり、山林や河川などへの不法投棄の防止もつなぐ必要があります。住みよい環境を作るためにも、最終処分場の整備の推進について積極的に考えてみましょう。

▼環境整備課(☎0286-23-3107)

情報スクランブル

県庁のあて先
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

催し

県立博物館第40回企画展

「生きている化石」

シーラカンス・肺魚など、生きている化石として有名な生物を、現生資料と化石資料を対比させながら紹介します。

- ▶期間 9/6(日)まで開催中
(※毎週月曜日は休館)
- ▶時間 9:30~17:00
- ▶観覧料 一般200円、大学・高校生100円、小・中学生50円
- ▶問合せ 県立博物館 (☎0286-34-1312)

県子ども総合科学館の催し

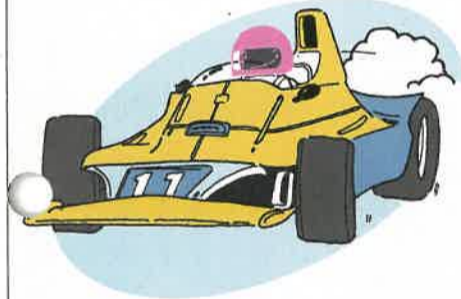
第13回企画展「F1の世界」 —最高速のメカニズムを科学する—

F1の実車を展示して、その最先端の技術と世界を紹介します。

- ▶期間 8/30(日)まで開催中
(※毎週月曜日、第4木曜日は休館)
- ▶時間 9:30~16:30

第3回子どもフェスティバル 体験アドベンチャーゲーム 『ミュージアムアイランドクエスト Part II』

- ▶期日 8/22(土)・23(日)
- ▶時間 9:30~16:30
- ▶問合せ 県子ども総合科学館
(☎0286-59-5555)



県営公園「緑の相談所」の催し

- ▶中央公園緑の相談所 (☎0286-36-7621)
7/25(土)~8/2(日) 「高山植物写真展」
- ▶井頭公園緑の相談所 (☎0285-82-4475)
7/26(日)~8/2(日) 「観葉植物・シダ展」
- ▶那須野が原公園緑の相談所
(☎0287-36-1220)
7/30(木)~8/9(日) 「病害虫写真展」

農業試験場公開デー

「新しい技術でのかす首都圏農業 (進む農作物の生育診断)」

- ▶期日 8/25(火)・26(水)
- ▶時間 9:00~16:00
- ▶内容 ・研究施設・試験研究成果の公開・展示
・野菜・果樹・花の育て方相談
・野菜・花の苗・栃木米プレゼント
・牛乳の試飲、モチつき大会など
- ▶問合せ 県農業試験場 (☎0286-65-1241)

募集

平成4年度統計グラフ 栃木県コンクール作品

- ▶課題 自由。ただし、小学1~3年生は、児童が観察した結果をグラフにしたもの。
- ▶大きさ(仕上げ寸法)
〔小・中学生〕縦72.8cm×横51.5cm
〔高校生以上〕縦103cm×横72.8cm
〔パソコン統計グラフの部〕
縦72.8cm×横51.5cm
- ▶紙質・色彩は自由ですが、パネル仕上げや、表面のセロハンカバーなどは認めません。
- ▶優秀作品は9月中旬に発表の後、11月に開催される栃木県統計大会で表彰し、全国コンクールに出品します。
- ▶締切 9/3(木)県統計課必着

▶問合せ 県統計課 (☎0286-23-2244)又は、各市町村統計主管課へ。

とちぎの美写真展作品

- ▶部門 自由部門:一般、中・高校生、女性の各部門
課題部門:テーマ「笑い」
- ▶規格 カラー、白黒は自由
自由部門:四ツ切以上
額・パネル仕上げ
課題部門:キャビネ版(2L可)
縁なし、写真のみ提出
- ▶点数 一人3点以内(組写真は4枚以内で1点)
- ▶受付 平成5年2月10日(火)~19日(金)
- ▶応募された作品は、全て3/3(火)~7(日)に、総合文化センターギャラリーに展示し、優秀作品は表彰します。
- ▶問合せ 県総合文化センター
(☎0286-43-1010)



案内

ファミリーキャンプ用具の貸出

- ▶対象 県内にお住まいの、高校生以下のお子さんのいる家族
- ▶期間 9/16(水)までの内、1回に付4日以内
- ▶料金 1回に付1,000円
- ▶貸出用具 ・カナディアンロッジ型5人用テント
・5人用コッヘル
・カートリッジ式ガスコンロ
・4人用テーブルセット
- ▶問合せ 県青少年育成県民会議事務局
(☎0286-23-3077)

水・・・みんなの宝

8月1日は「水の日」、
そしてこの日から一週間は「水の週間」です。

私たちが水と一番身近になる夏。この機会にもう一度「水」について見つめ直し、毎日の暮らしの中で水の使い方を工夫してみましょう。

▶問合せ 県資源対策課 (☎0286-23-2566)

参議院議員通常選挙

7月26日(日)

—この一票 明るいあすへの夢きっぷ—
大切な一票です。必ず投票しましょう。
栃木県選挙管理委員会・栃木県明るい選挙推進協議会

土曜日閉庁のお知らせ

栃木県庁では、7月から土曜日をお休み(閉庁)させていただくことになりました。

ただし、図書館、美術館、博物館、子ども総合科学館、総合文化センター、青年の家、少年自然の家などは今までどおりご利用いただけます。

その他にも、土曜日に利用できる場所があります。

詳しいことは、ご利用になる場所にお問い合わせください。

なお、閉庁に当たっては、行政サービスをできるだけ低下させないよう工夫をするとともに、事務の効率化に努めてまいりますので、皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

▶問合せ 県人事課 (☎0286-23-2037)

県のシンボル紹介

(県木・トチノキ)



昭和41年6月28日告示

県木・トチノキ(栃の木)は、平和のシンボルである緑の意義を自覚し、環境緑化を推進するため、県庁内で組織される企画調整委員会で選定しました。

この木は、その名前により古くから郷土の木として親しまれている落葉樹で、葉は手を広げた様な形をしています。5月頃、白い優雅な花が咲き、実は粉末にすると餅や団子などの材料として食用にもなります。

現在県では、トチノキの他、セイヨウトチノキ、ベニバナトチノキを含めたトチノキ属全体の代名詞として、洒落た響きを感じさせる「マロニエ」を、イメージアップ作戦や、フランスのヴォークリューズ県との国際交流のシンボルとして普及させるように努めています。

県政ラジオ番組(栃木放送)

- 県民の窓
毎週日曜日~金曜日
午後0時15分~0時30分
- 県庁ダイアリー
毎週月曜日~土曜日
午前8時42分~8時47分
- 県政アラカルト
「知事さんこんにちは」
毎月第3日曜日
午前9時15分~9時45分



文字放送

- 毎日午前6時~午後12時
1チャンネル(550#)
- NHK総合テレビの電波に多重し、県からのお知らせ、生活情報を常時放映しています。
- 文字放送を見るには…
文字放送受信機能を組み込んだ文字放送内蔵型テレビか、文字放送専用アダプターが必要です。くわしくは、お近くの電気屋さんでおたずねください。



県政テレビ番組 ウィークリー栃木

毎週木曜日午前8時30分~8時45分 テレビ東京12チャンネル

県内各地のホットな話題を私たちがレポートします。ヨロシクネ~!!



MINAMI



高松しげお



相馬 宏美

番組に対するご意見・ご希望・身近な情報等をお寄せ下さい。

あなたの声を県政に

- 県政についてのご意見・ご要望・苦情をお受けしています。また、日常生活でお困りのことなど、お気軽にご相談ください。
- 県が発行する報告書やパンフレットを展示、ご希望の方にはおわけしています。是非ご利用ください。

- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
- 上都賀県民相談室 ☎0289-64-9419
- 安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
- 塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
- 芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
- 足利県民相談室 ☎0284-42-9700
- 南那須県民相談室 ☎0287-83-1555